

溪毛芥 きよひげ 漢詩人、僧侶。文政元年美濃國大垣生れ、明治十六年十月十九日歿（二八八一—八三）。名英順。神田南宮の塾生なり。父宜順の歿後大垣普通運手任職を繼ぐ。更し漢學を研鑽、教ノマニシキ者なりとして私塾を開いた。また鴻雪爪 おほせつこうすけ、川原鐵心、長田海鷗等と詩會を設け、時に「碧巖録」の論講をなごころした。殊に雪爪とは親友。京都への旅中歿す。其詩集を神田南宮の文雅 ぶんあ はなんの二冊。

文雅齋 ぶんあさい 川毛芥遺稿『びんごの』。